

次期茅ヶ崎市地域情報化計画 策定に向けたアンケート結果

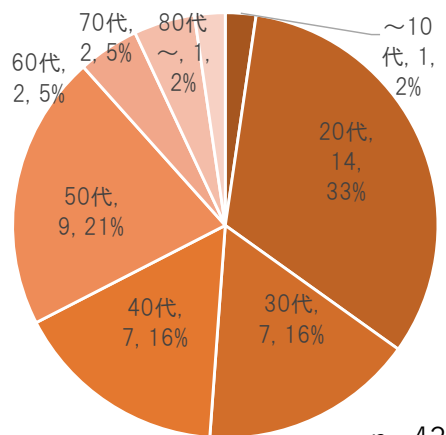
茅ヶ崎市企画部情報推進課

アンケート概要・回答者の属性

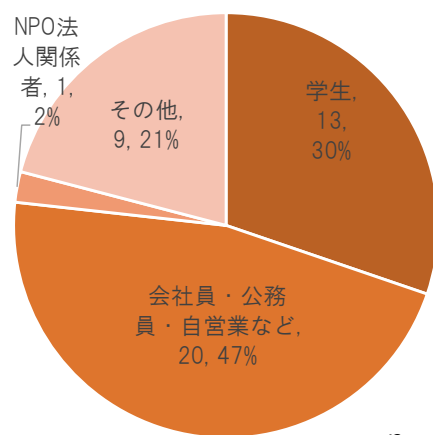
- 次期茅ヶ崎市地域情報化計画の策定に向け、これからの茅ヶ崎市の情報化について広く意見をいただくことを目的に、インターネットによる電子アンケートを実施しました。
- 回答者の年代は分散しており、茅ヶ崎市内在住・在勤の社会人が相対的に多いものの、回答者の属性に極端な偏りはありませんでした。回答数は43と決して多いとは言えませんが、属性は分散しており、市民の皆様から幅広い意見をいただいております。

アンケート名	次期茅ヶ崎市地域情報化計画策定に向けたアンケート
調査対象	茅ヶ崎市在住・在学・在勤の市民
調査方法	インターネット（e-kanagawa電子申請）を活用した電子アンケート
調査期間	令和2年3月18日（水）～令和2年4月17日（金）
回答数	43

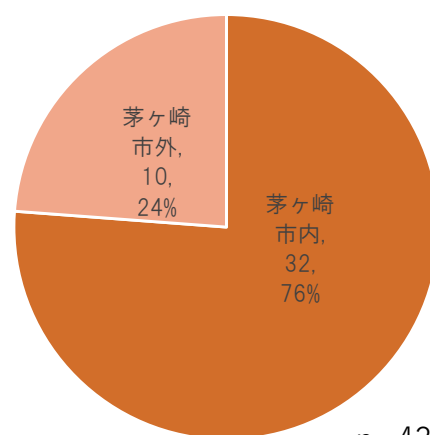
年代



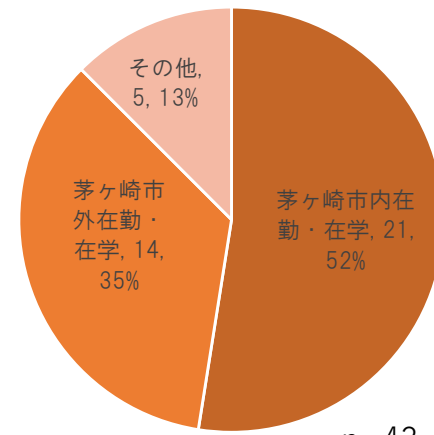
職業



住所



勤務地（在学地）



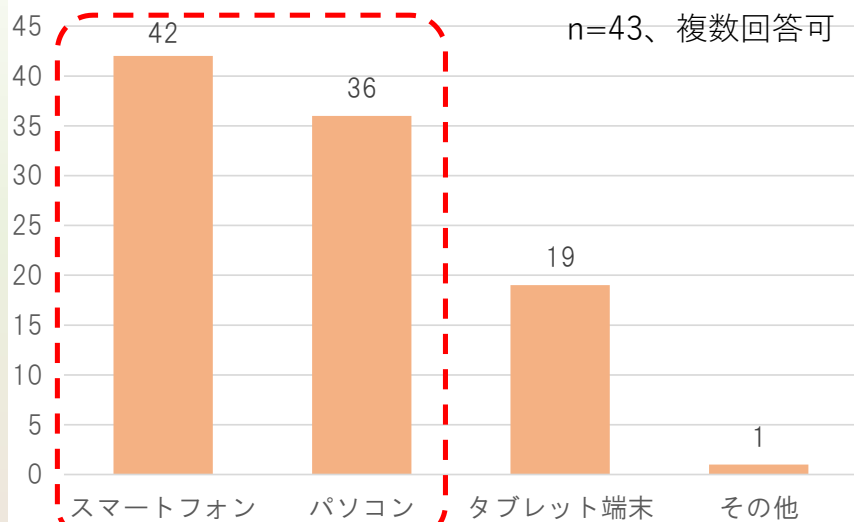
インターネット利用環境

Q1 インターネット利用の際に使用する機器はなんですか。

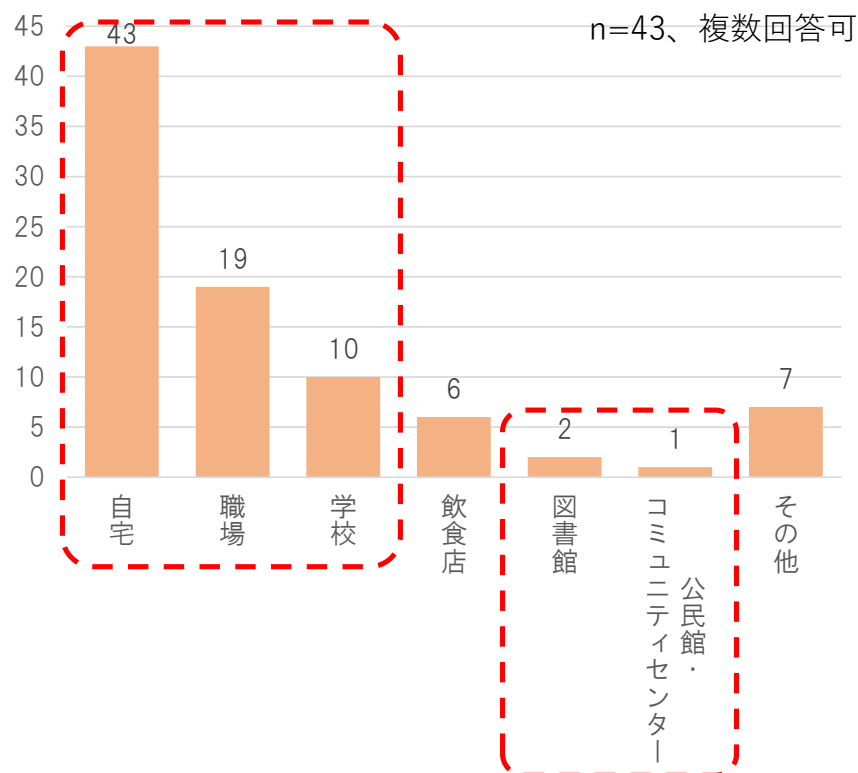
Q2 インターネットを利用する場所はどこですか。

- スマートフォンやパソコンで、自宅・職場・学校からインターネットを利用する人が多いといった結果が得られました。
- 特にスマートフォン、自宅と回答した人は100%に近く、今後施策を検討するうえでは、まずこのパターンを念頭に置く必要があるものと考えます。
- 一方、図書館や公民館・コミュニティセンターといった市の施設でインターネットを利用すると回答した人は決して多くない結果となりました。

インターネット利用機器



インターネット利用場所



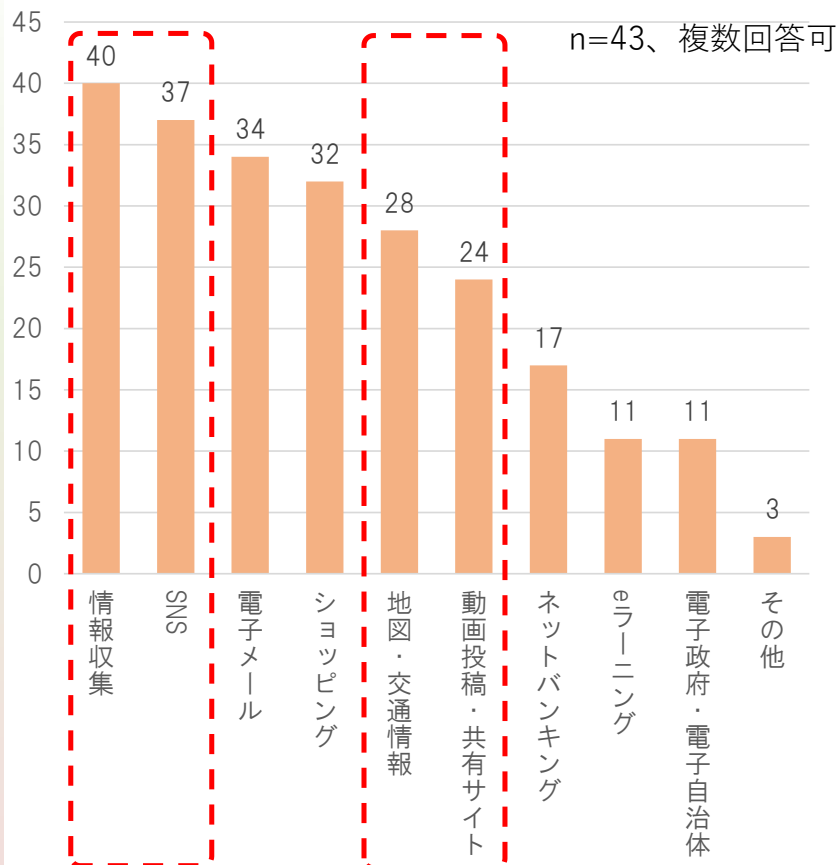
インターネット利用目的・SNS

Q3 インターネットを利用する目的はなんですか。

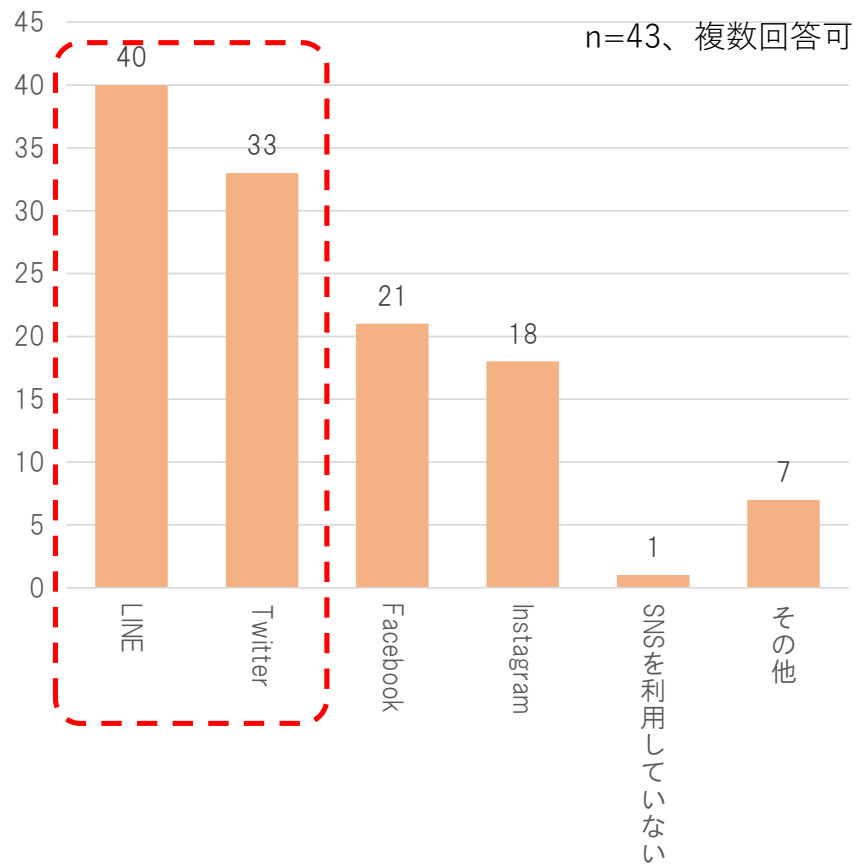
Q4 利用しているSNSはなんですか。

- 情報収集やSNS、地図情報、動画投稿サイト等、市の情報発信ツールとして活用しているものがインターネット利用目的と重なっております。
- 利用SNSについては、LINE、Twitterの利用率が高く、市の情報発信方法を検討するうえでも参考とすべきと考えます。

インターネット利用目的



利用SNS



情報入手

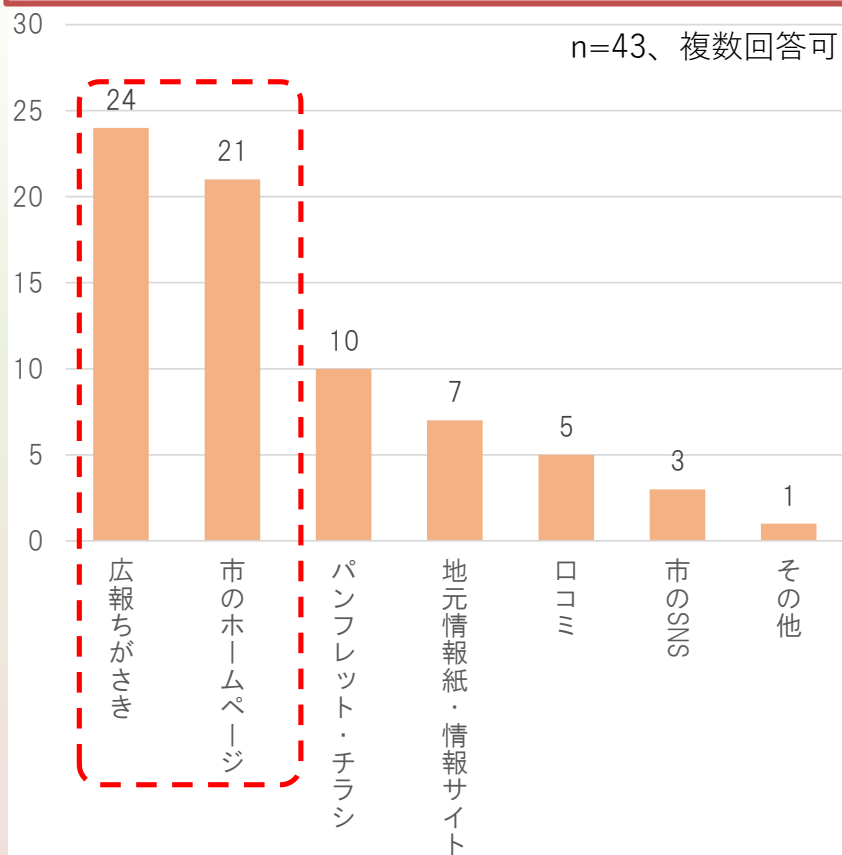
Q5 茅ヶ崎市の事務やイベント等の情報を入手する手段はなんですか。

Q6 あなたは全ての人が必要な市の情報を必要なときに得ることができるようになってきていると思いますか。

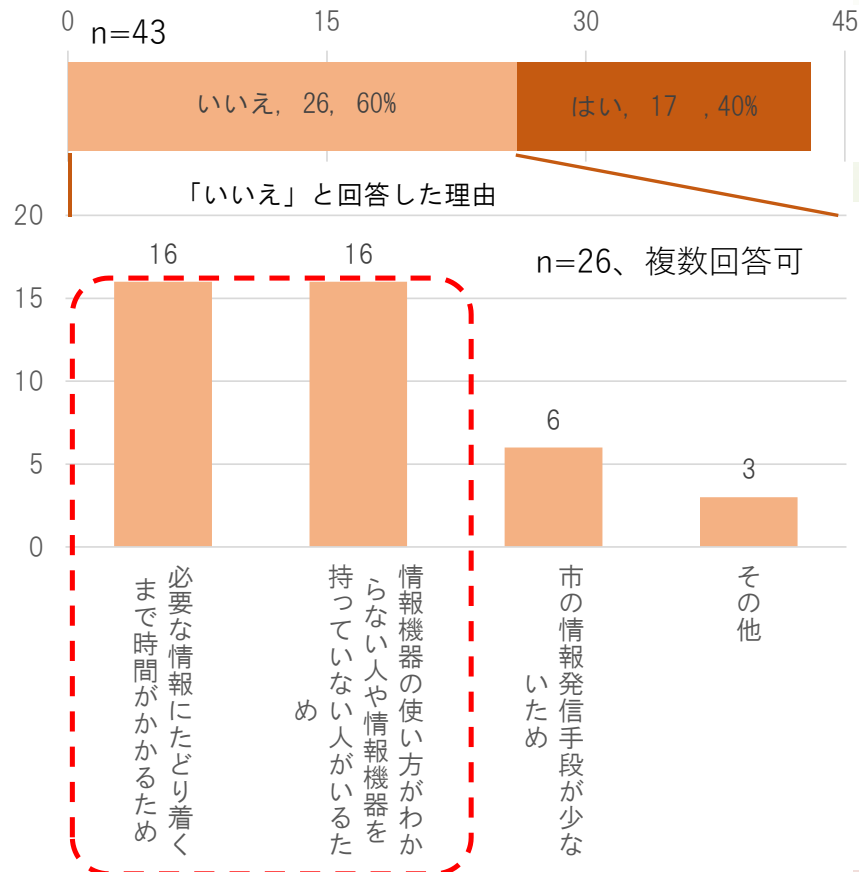
Q7 Q6で「いいえ」と思った理由を教えてください。

- 市政情報の入手方法としては、広報ちがさき、市のホームページという回答が多い結果となりました。
- すべての人が必要な情報を得ることが出来ないという回答が6割であり、その理由として、情報の提供方法に関する事項と、利用者側に関する事項が大半でした。

情報入手方法



全ての人が必要な情報を得ることができると思うか



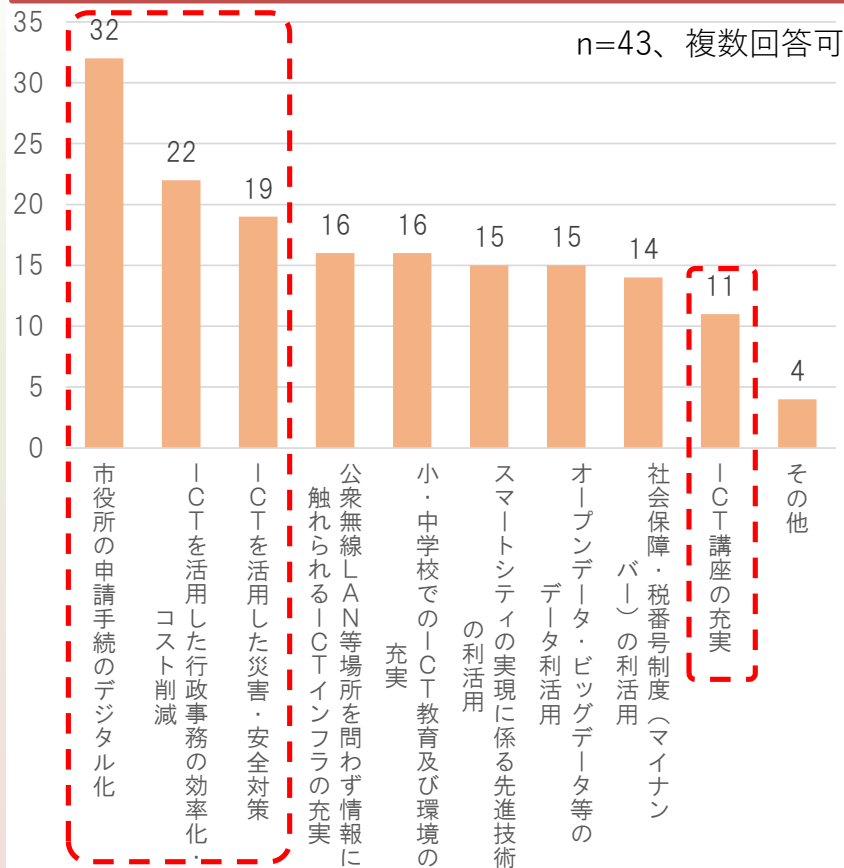
力を入れる情報化施策・デジタル化の不安

Q8 茅ヶ崎市が今後取り組んでいく情報化施策として力を入れていくべき分野について選択してください。

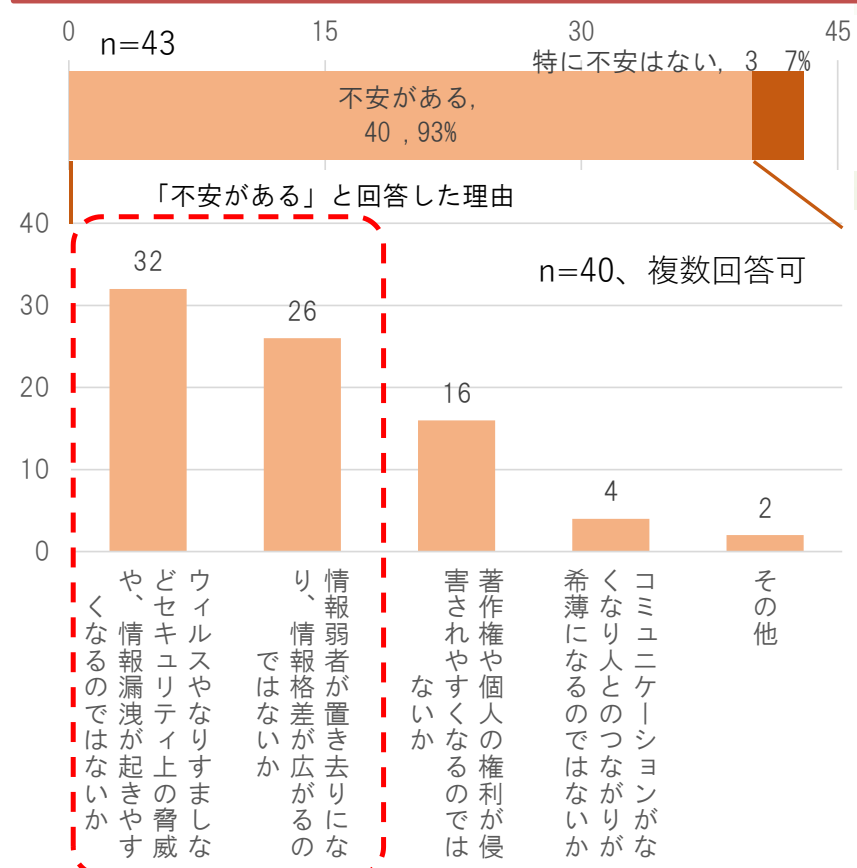
Q9 デジタル化が進む中、不安なことはありますか。

- 力を入れる情報化施策については、申請手続のデジタル化、効率化・コスト削減、災害・安全対策についての回答が多い結果となりました。
- デジタル化に対しては9割以上の回答者が何らかの不安を感じており、情報漏えいリスクや情報格差拡大がその主要な要因でした。

力を入れる情報化施策



デジタル化の不安



情報化施策への要望

Q10 茅ヶ崎市が推進する情報化施策について、ご意見・ご要望がございましたらお答えください。

- 茅ヶ崎市が推進する情報化施策について、以下のご意見・ご要望をいただきました。
- 十分な冗長性、将来性と長期の安定運用の為の安定した予算設計が重要だと考えます
- 駅や量販店での電子掲示板(eペーパーなども含め)による情報表示。配信メールと同じ内容で良いと思います。
- 地域の自治会運営が高齢化により困難になっている。ICTを利用した、制度の見直しを願いたい。
- 災害時、電話やインターネットが使えなくも情報発信できる、テレビ受像機のData放送を活用しても良いかも。
- 高齢化社会の影響も考慮し、大変ですが情報発信手段を増やす。eメールを使わない人へショートメールやLINEでの情報配信。
- 情報弱者へのサポートは必要だと思うが、情報弱者に合わせて全体のレベルが下がるのは問題だ。まずあるべき情報化施策を定めたい。情報弱者へのサポートをしてほしい。
- 机上で便利だと思えることはもちろん、実際に使う方（年齢・性別・ハンディキャップなど関係なく）が便利だと感じていただける施策を生み出していきたい。そもそもこれを考えるメンバーが詳しくない議員、詳しくない政治家、詳しくない公務員だけではまったく良い施策はできないので、考えるメンバーの人数も大事にしてほしい。どこかの広告代理店などに委託するのもNGです。
- 情報化施策は茅ヶ崎市の中だけで計画・推進するのではなく、3市1町の広域的で市民等に直接反映されるよう、もっと多く連絡を取り合い、また産学官（商工会議所等、文教大学等、自治会等など）の意見を「随時」取り入れられる仕組みを構築し、茅ヶ崎地域の活性化と、その一層の充実・強化をICTの進展を背景として利用推進を行って頂くようお願いいたします。
- 情報化施策も重要ですが、藤沢市や平塚市と比べ茅ヶ崎市は判断が遅いと思います。コロナ対策も遅いと感じました。
- そもそも情報化社会が実感出来ない

アンケート結果を踏まえた情報化計画策定(1)

- アンケート結果を踏まえ、次期情報化計画の策定時には以下の内容を考慮のうえ施策の検討を進めてまいります。

アンケート結果

インターネット利用機器としてスマートフォン、PCという回答が多い。

SNSのうち、LINE、Twitterを利用しているという回答が多い。

インターネット利用目的として、情報収集、SNS、地図情報の利用、動画投稿サイトという回答が多い

広報ちがさきや市のホームページで市政情報を取得しているという回答が多い。

必要な情報にたどり着くまで時間がかかるという回答が多い。

情報機器の使い方が分からない人や情報機器を持っていない人がいるという回答が多い。

災害・安全対策に力を入れるべきという回答が多い。

情報化計画策定時の考慮

施策検討時に、スマートフォンでの利用を前提とする。

情報発信方法として、LINE、Twitterを積極的に検討する。

現状の情報発信方法を維持しつつ、より情報を取得しやすい方法を検討する。
(例. チャットボットの導入、広報配信アプリの充実 等)

情報の取得が困難な人を考慮した災害・安全対策を検討する。

アンケート結果を踏まえた情報化計画策定(2)

- アンケート結果を踏まえ、次期情報化計画の策定時には以下の内容を考慮のうえ施策の検討を進めてまいります。(続き)

アンケート結果

デジタル化について、情報漏えいリスクを懸念するという回答が多い。

申請手続のデジタル化に力を入れるべきという回答が多い。

事務効率化・コスト削減に力を入れるべきという回答が多い。

情報化計画策定時の考慮

これまでと同様、セキュリティ対策を推進する。

申請手続のデジタル化を施策に盛り込む。また、利用者に不安を与えないよう強固なセキュリティ対策を行う。

事務効率化・コスト削減のための取組を施策に盛り込む。